

牛白血病 とは

1. 原因(病原体)

本疾病は地方病型と散発型に分けられ、前者は牛白血病ウイルスであるが、後者については原因不明である。



【リンパの腫大(しゅだい)(腫れて大きくなること)】

(出典:動物衛生研究所)

2. 感受性動物

牛, 水牛

3. 症状

地方病型: 感染牛の大部分は無症状であるが、一部が発症し体表リンパの腫脹、削瘦(さくそう)、元気消失、食欲不振、眼球突出、乳量減少、下痢などを示し、死の転帰をたどる。

散発型: 子牛型(6ヶ月未満)、胸腺(きょうせん)型(6ヶ月~2歳未満)および皮膚型(2~3歳)に細分され、子牛型では全身リンパ、胸腺型では胸腺が腫れ、皮膚型では全身にイボ状病変が形成される。

4. 発生状況

(1)国内(牛)

	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年
戸数	677	830	979	1,166	1,200	1,446	1,680
頭数	838	1,045	1,369	1,774	1,765	2,090	2,310

(家畜伝染病予防法に基づく届出頭数)

(2)海外

世界各国で発生あり。

5. 診断法

(1)地方病型ではウイルスまたは抗体検出を行う。

(2)散発型では、臨床・病理学的診断を行う。

6. 予防法、治療法、対策

ワクチンはない。

有効な治療法はないため、飼養衛生管理及び防疫対策を徹底。